



The bridge to possible

Cisco Catalyst Center

リリース 3.1.6

リリースノート

目次

Catalyst Center リリース 3.1.6.....	3
新しいソフトウェア機能	3
動作における変更	8
解決済みの問題.....	9
未解決の問題	9
既知の問題	10
互換	11
拡張性.....	12
サポートされるハードウェア	13
関連技術情報	14
法的情報.....	15

Catalyst Center リリース 3.1.6

Cisco Catalyst Center は、設計、検出、ポリシー、プロビジョニング、予測分析、インテリジェントモニタリング、可視性、コンプライアンスなど、最新のネットワーク管理のあらゆる側面にまたがる機能を備えた、包括的なネットワーク管理ソリューションです。運用の効率と一貫性を確保するため、Catalyst Center には組み込みの自動化および簡素化されたワークフローが含まれています。

このドキュメントでは、Catalyst Center リリース 3.1.6 の機能、制限事項、およびバグについて説明します。

注： Catalyst Center 3.1.6 は、制御された可用性リリースとして使用できます。営業担当者にお問い合わせください。

表 1. 初回リリース以降のこのドキュメントの変更履歴

日付	変更内容	参照先
2026-01-27	サポートされているファームウェアを更新し、アップグレードのガイドラインとクロスバージョンのバックアップと復元に関する情報を追加。	<ul style="list-style-type: none">• サポートされているファームウェア• Catalyst Center• 既知の問題
2026-01-15	CSCws74602 を未解決の問題に追加。	未解決の問題
2026-01-05	ゲスト SSID での既存の Cisco ISE ポータルの使用に関するワイヤレスの制限を追加。	既知の問題
2025-12-18	初版	—

新しいソフトウェア機能

Catalyst Center 3.1.6 のパッケージバージョン

表 2. Catalyst Center 3.1.6 のパッケージバージョン

パッケージ名	リリース 3.1.6
リリースビルドバージョン	
リリースバージョン	3.1.6-75205
システムの更新プログラム	
システム	3.1.283
システム共通	2.734.65386
システムアドオン	0.10.506
パッケージの更新	
アクセス制御アプリケーション	2.734.65386
AI エンドポイント分析	3.160.26

AI ネットワーク分析	4.0.35
アプリケーションおよびサービス修復	3.16.23
アプリケーション ホスティング	2.4.225112005
アプリケーションの可視性およびポリシー	2.734.117614
保証	3.160.192
アシユアランス - センサー	3.160.159
自動化 - インテリジェントキャプチャ	2.734.65386
自動化 - センサー	2.734.65386
Catalyst Center API カタログ	6.8.515
Catalyst Center Gateway サービス	0.10.509
Cisco Catalyst Center グローバル検索	6.9.4
Cisco Catalyst Center プラットフォーム	6.9.517
Cisco Catalyst Center UI	3.5.507
Cisco Identity Services Engine	3.160.38
クラウド接続	6.10.505
クラウド接続 - コンテキストコンテンツ	7.0.505
クラウド接続性 - ダイジェスタ	7.0.503
コアプラットフォーム	0.10.549
ディザスタリカバリ	2.734.365017 注：このパッケージはオンプレミスのハードウェアアプライアンスでのみ使用でき、仮想アプライアンスでは使用できません。
DxHub クラウド接続	6.10.516
グループベースのポリシー分析	3.160.114
アイデンティティ管理とアクセス管理	5.4.510
アイデンティティ管理とアクセス管理 - UI	5.4.504
複数の Cisco Catalyst Center	2.734.65386
ネットワーク コントローラ プラットフォーム	2.734.65386

ネットワーク データ プラットフォーム - 基本分析	3.160.10127
ネットワーク データ プラットフォーム - キャッシングインフラ	6.6.503
ネットワーク データ プラットフォーム - コア	6.6.504
ネットワーク データ プラットフォーム - 取り込みインフラ	6.6.505
ネットワーク データ プラットフォーム - マネージャ	6.6.101
ネットワーク データ プラットフォーム - パイプラインインフラ	6.6.505
ネットワーク データ プラットフォーム - ストレージ管理	6.6.503
プラットフォームリフレッシュ	1.4.40
RCA スクリプトのパッケージ	0.5.7%
不正および aWIPS	3.1.411
SD-Access	2.734.65386
共有マネージドサービス	0.10.512
Stealthwatch セキュリティ分析	2.734.1095099
サポート サービス	2.734.885129
システム管理操作	1.6.511
テレメトリ	4.7.502
Wide Area Bonjour	2.734.755017

ディザスタリカバリ監視

ディザスタリカバリ監視は、Catalyst Center の個別の OVA ファイルとして使用できます。バージョン番号は 2.1.734.370011 です。

Catalyst Center

表 3. Catalyst Center 3.1.6 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	SD-Access へのセキュリティサービスの挿入	Catalyst Center は、定義済みのポリシーに基づくファイアウォールを介してトラフィックを操作することで、SD-Access ファブリックネットワークのセキュリティを強化するセキュリティサービスの挿入をサポートしています。 注： この機能はベータ版です。
	SHA256 の SNMPv3 認証のサポート	Catalyst Center は、SNMPv3 認証タイプとして SHA256 をサポートするようになりました。 SHA256 を使用すると、古いアルゴリズムに比べて強力な認証メカニズムが提供され、Catalyst Center との SNMP 通信のセキュリティが強化されます。
	キャンパスネットワークのサポート	Catalyst Center のキャンパスネットワーク機能を使用すると、ネットワークとデバイスグループを使用して、複数のサイトにまたがってデバイスを管理できます。デバイスの設定を比較して、ネットワーク内のグループプロファイルを把握または作成できます。 注： この機能はベータ版です。
	トラフィックステアリングポリシーの設定	Catalyst Center は、必要なトラフィックをファイアウォールにリダイレクトするトラフィックステアリングポリシーの設定をサポートしています。セキュリティサービスの挿入でトラフィック ステアリング ポリシーを使用できます。 注： この機能はベータ版です。
	バージョンをまたがるバックアップと復元のサポート	Catalyst Center は、バージョンをまたがるバックアップと復元をサポートしています。Catalyst Center 3.1.3 または Catalyst Center 3.1.5 のバックアップを作成し、Catalyst Center 3.1.6 に復元できます。

Cisco Catalyst Assurance

表 4. Cisco Catalyst Assurance 3.1.6 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
使いやすさ	フロア上のすべての不正 AP の詳細を表示	すべての不正 AP の正確な位置と脅威レベルをフロアマップで表示できます。

Catalyst Center プラットフォーム

表 5. Catalyst Center プラットフォーム 3.1.6 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	API 操作	<p>Catalyst Center プラットフォームでは、新しい API 操作がサポートされています。</p> <p>詳細については、『Cisco Catalyst Center Platform User Guide』の「新機能および変更情報」を参照してください。</p> <p>API の詳細については、Cisco DevNet の Cisco Catalyst Center APIs を参照してください。</p>
	アシュアランス イベント	<p>Catalyst Center プラットフォームは、NETWORK-FABRIC_WIRED-1-338 と呼ばれる新しいアシュアランスイベントをサポートします。これは、特定の VRF およびファイアウォール IP のファブリックエッジノードからのファイアウォール接続がダウンしたときにトリガーされます。</p> <p>ファイアウォール IP 到達可能性の問題は、サービスの挿入が有効になっているファブリックサイトでのエッジノードからファイアウォールへのルートの可用性をモニターします。エッジノード、ファイアウォール IP、および VRF の固有の組み合わせごとに 1 つの問題が生成されます。</p>
使いやすさ	クライアントレポート	<p>Catalyst Center プラットフォームでは、「クライアント ローミング イベント」と呼ばれる新しいクライアント レポート テンプレートがサポートされます。</p> <p>このテンプレートを使用して、固定であるにもかかわらず、隣接するアクセスポイント (AP) 間で (10 分以内に) 頻繁に切り替えを行うデバイスに関するレポートを生成します。</p> <p>詳細については、『Cisco Catalyst Center Platform User Guide』の「新機能および変更情報」を参照してください。</p>

Catalyst Center 自動化

表 6. Catalyst Center 自動化 3.1.6 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	ワイヤレスデバイスの AP ローカル署名証明書 (LSC) の更新	<p>Catalyst Center では、AP LSC 更新プロファイルを作成して、期限切れ前にワイヤレスデバイスの AP LSC を更新することができます。</p> <p>注： デバイスが Cisco IOS XE リリース 17.1.7.1 以降を実行している必要があります。</p> <p>[プロビジョニング (Provision)] > [インベントリ (Inventory)] ウィンドウで、[証明書の有効期限 (Certificate Expiration)] と [証明書タイプ (Certificate Type)] 列が [デバイス (Devices)] テーブルに追加され、証明書情報に簡単にアクセスできるようになりました。</p>
	802.11be プロファイルの機能拡張	<p>Cisco IOS XE リリース 17.18.1 では、802.11be プロファイルで次の機能が拡張されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトプロファイルとして 802.11be プロファイルを設定するための [デフォルトとしてマーク (Mark as default)] トグルボタン。 複数の周波数帯域を同時に使用するためのマルチリンク動作 (MLO) グループのサポート。 <p>[設計 (Design)] > [ネットワーク設定 (Network Settings)] > [802.11be プロファイル (802.11be Profiles)] ウィンドウでは、テーブルで次の機能が拡張されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい [タイプ (Type)] 列により、802.11be プロファイルがデフォルトプロファイルとして設定されているかどうかが表示されます。 [ワイヤレスネットワークプロファイル (Wireless Network Profile)] 列の横にある新しい情報アイコンには、802.11be プロファイルに関連付けられているネットワークプロファイルと SSID に関する情報が表示されます。

製品への影響	機能	説明
	Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラでのデバイスごとの設定の機能拡張	<p>Catalyst Center のデバイスごとの設定機能で、Cisco IOS XE リリース 17.18.1 以降を実行する Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラに関する以下の設定とパラメータがサポートされるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 802.11be 設定の機能拡張 • WLAN プロファイルでの Wi-Fi 7 のバンドごとのステータス • ポリシープロファイルの WLAN スケジューラ • LSC プロビジョン • AP アップグレードの設定
	Cisco Wireless 9171I シリーズ アクセスポイントのサポート	<p>Catalyst Center は、Cisco IOS XE リリース 17.18 以降での Wi-Fi 7 設定で、Cisco Wireless 9171I シリーズアクセスポイントをサポートします。</p> <p>この AP は、スロット 1 が 5 GHz または 6 GHz のいずれかの無線モードで動作できるデュアルバンド (XOR) 機能をサポートします。</p> <p>注：[アクセスポイントの設定 (Configure Access Points)] ワークフローを使用してこの AP を設定する場合、[5GHz 無線パラメータの設定 (Configure 5 GHz Radio Parameters)] または [6GHz 無線パラメータの設定 (Configure 6 GHz Radio Parameters)] ウィンドウでスロット 1 の無線パラメータを設定することはできません。代わりに、[デュアルバンド (XOR) 無線パラメータの設定 (Configure Dual-Band (XOR) Radio Parameters)] ウィンドウを使用して、これらの設定を管理します。</p>

Cisco Software-Defined Access

表 7. Cisco Software-Defined Access 3.1.6 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	ファブリック エッジデバイスとしての Cisco C9350 シリーズ スマートスイッチのサポート	<p>Catalyst Center は、ファブリックネットワーク内のエッジデバイスとして Cisco C9350 シリーズスマートスイッチをサポートします。</p> <p>注：Cisco C9350 シリーズスマートスイッチは、ワイヤレス機能や拡張ノードの設定をサポートしていません。</p>

動作における変更

表 8. Catalyst Center 3.1.6 の動作の変更

変更内容	説明
Catalyst Center と CMX 11.0 および TLS 1.3 の統合	<p>CMX 11.0 以降、デフォルトでは TLS 1.2 のサポートは終了しました。TLS 1.3 のみがサポートされています。Catalyst Center 3.1.6 は、CMX 11.0 に必要な FIPS 140-3、TLS 1.3、および対応する暗号スイートをサポートします。コモンライテリアを有効にし、TLS バージョンを TLS 1.2 に固定すると、CMX 11.0 以降との統合が失敗する可能性があります。</p> <p>10.6.x などの古い CMX バージョンでは TLS 1.2 がサポートされており、統合の問題はありません。CMX 11.1.0 以降では、TLS 1.2 サポートを再度有効にするために、新しい設定オプションを使用できます。</p> <p>詳細については、『Cisco CMX 11.1 リリースノート』および『Cisco CMX 11.1 コマンド参考資料』を参照してください。</p>

変更内容	説明
最小定期再同期間隔が 6 時間に増加	パフォーマンスを向上させ、リソース割り当てを最適化するために、定期的な再同期の最小間隔（デバイスごとおよびグローバルの両方）が 25 分から 6 時間に長くなりました。 <ul style="list-style-type: none"> 再同期間隔が 6 時間未満のデバイスでは、間隔が自動的に新しい最小値である 6 時間に増加されます。 すでに 6 時間以上の再同期間隔に設定されているデバイスでは、変更されません。 グローバル再同期間隔が 6 時間未満に設定されている場合、設定時間の値は 6 時間に増加されず、グローバル再同期間隔がすでに 6 時間以上になっている場合は、変更されません。
Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのデバイスごとの設定からモビリティ設定オプションが削除されました	デバイスごとの設定が有効になっている Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのデバイスの詳細ウィンドウの左側のペインで、[Global Wireless Configurations] にある [Mobility] オプションおよび次のタブが削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> グローバル コンフィギュレーション ピア設定
802.11be 設定の OFDMA アップリンク、OFDMA ダウンリンク、MU-MIMO アップリンク、および MU-MIMO ダウンリンクの設定の変更	Cisco IOS XE リリース 17.18.2 以降、OFDMA アップリンク、OFDMA ダウンリンク、MU-MIMO アップリンク、および MU-MIMO ダウンリンクの各パラメータは廃止され、以下の 802.11be 設定では無視されます。 <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz および 5 GHz 帯域用の 802.11be プロファイル 6 GHz 帯域用の RF プロファイルの 802.11BE PARAMETERS セクション これらを設定するには、以下のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz および 5 GHz 帯域：[高度な SSID 設定 (Advanced SSID Configuration)] 機能テンプレートの [802.11ax 設定 (802.11ax Configuration)] タブを使用します。 6 GHz 帯域：RF プロファイルで [802.11AX パラメータ (802.11AX PARAMETERS)] セクションを使用します。

推奨されなくなった機能

表 9. Catalyst Center 3.1.6 で廃止された機能

機能	説明
Cisco Umbrella のサポート	Catalyst Center は、Umbrella のサポートを廃止および終了します。Umbrella に関して収集されたデータは、Catalyst Center から完全に削除されます。

解決済みの問題

[シスコのバグ検索ツール](#)を使用して、特定のバグを検索したり、このリリースに含まれるすべての解決済みバグを検索したりできます。

未解決の問題

[シスコのバグ検索ツール](#)を使用して、特定のバグを検索したり、このリリースに含まれるすべての未解決バグを検索したりできます。

文書化されたシスコ製品の問題を検索するには、ブラウザに次のように入力します：<bug_number> site:cisco.com

表 10. Catalyst Center 3.1.6 の未解決の問題

不具合 ID	説明
CSCwr86684	ip ssh server algorithm hostkey ecdsa-sha2-nistp256 設定が、 crypto key generate ec keysizes 256 label ecdsa-key の設定なしで使用された場合、デバイスはホストキー ecdsa-sha2-nistp256 の設定を受け入れるが、 ECDSA アルゴリズムを設定どおりに提供しない。
CSCws74602	<p>新規インストールまたはアップグレード時に、デバイスの再同期またはインベントリ収集が実行されていると、影響を受けるデバイスでこれらの動作に不具合が発生する可能性がある。GUI で、デバイスの管理性ステータスに</p> <p>「内部エラー」が表示される。アイコンにカーソルを合わせると、「内部エラー：NCIM12024：デバイスからすべての情報を正常に収集できなかったか、このデバイスのインベントリ収集がまだ開始されていません」と表示される。これは自動的に解決される一時的な問題である可能性があります。デバイスを再同期しても問題が解決しない場合は、Cisco TAC にご連絡ください。</p> <p>回避策：SNMP コミュニティまたはユーザーを変更して、それぞれに固有の ACL を使用します。または、ACL を標準から名前付きに変更します。</p>

既知の問題

表 11. Catalyst Center 3.1.6 のガイドラインと制約事項

機能	説明
ガイドライン	
AP	<p>ワイヤレスコントローラの設定変更によって、ワイヤレスコントローラの同期のみがトリガーされます。この同期中に、Catalyst Center は次のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスコントローラ関連の設定を収集しますが、 ワイヤレスコントローラに関連付けられている AP の設定とステータスは更新されません。 <p>ワイヤレスコントローラに関連付けられている AP の更新情報 (AP ステータス、新しい AP 検出、AP 設定など) を表示するには、完全なワイヤレスコントローラ同期を手動で実行する必要があります。完全な同期を行うには、以下の手順を実行します。</p> <p>ステップ 1.[Inventory] ウィンドウで、ワイヤレスコントローラを選択します。</p> <p>ステップ 2.[Actions] > [Inventory] > [Resync Device] の順に選択します。</p>
Stealthwatch セキュリティ分析	<p>リリース 2.3.7.x から 3.1.x にアップグレードする場合、デバイスで Stealthwatch Security Analytics をプロビジョニングするには、Stealthwatch に対する 書き込み 権限が必要です。読み取り 権限のみの場合、設定を編集またはプロビジョニングすることはできません。アップグレードの前後に権限を更新して、設定の編集とプロビジョニングを有効にします。</p>
アップグレード	<p>Catalyst Center は、Catalyst Center 3.1.3 または Catalyst Center 3.1.5 から Catalyst Center 3.1.6 への直接アップグレードをサポートしています。詳細については、『Cisco Catalyst Center Upgrade Guide』を参照してください。</p>
制限事項	
ワイヤレスデバイスの AP ローカル署名証明書 (LSC) の更新	<p>Catalyst Center インベントリで AP LSC 証明書を更新すると、証明書の更新が成功した後でも、[アクセスポイント証明書の更新 (Renew Access Point Certificate)] ウィンドウで AP 証明書のステータスが [開始済み (Started)] と表示されます。この問題は表示のみの問題であり、AP 証明書は正しく更新されています。正常に更新されたことを確認するには、証明書の有効期限が更新されていることを確認します。</p>

機能	説明
デバイスごとの設定	<ul style="list-style-type: none"> デバイスごとの設定により管理されるワイヤレスコントローラが Cisco IOS XE リリース 17.15.x から 17.18.x にアップグレードされると、Day-N 変更での HTTPS、Web 認証、EAP プロファイル、管理トラストポイントの設定時に、自己署名トラストポイント名がデバイスごとの設定ウィンドウに表示されません。この問題が発生した場合は、CLI または Web UI を使用して Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラでトラストポイントを直接設定します。 ワイヤレスコントローラが管理トラストポイントとして LSC を使用するように設定されている場合、有効な LSC を持つ AP のみが参加できます。新しい AP、特にプラグアンドプレイ (PnP) を介してオンボーディングされた AP は、最初の参加試行時に Manufacturing Installed Certificate (MIC、製造元でインストールされる証明書) を提示します。ワイヤレスコントローラはこれらの AP を拒否するため、ルート証明書は更新されません。オンボーディングを成功させるには、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの Web UI で AP 証明書ポリシーを設定し、MIC ベースの AP が一時的に参加できるようにします。オンボーディング後、AP 証明書ポリシーを更新し、LSC を使用します。詳細については、『Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide』を参照してください。
製品内ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> オンラインヘルプとインタラクティブヘルプはライトモードでのみ使用でき、暗いモードはサポートされていません。 インタラクティブヘルプのウィジェットを右上、右中央、および右下の位置に配置している場合、カーソルがウィジェットの右端を超えると、ウィジェットが点滅することがあります。
ゲスト ワイヤレス ネットワークの SSID	<p>Catalyst Center は、ゲスト ワイヤレス ネットワークの SSID の作成時における新規 Cisco ISE ポータルの作成をサポートします。ただし、SSID の作成中に既存の Cisco ISE ポータルを使用することはできません。</p> <p>既存の Cisco ISE ポータルの使用に関する詳細については、『Cisco Identity Services Engine Administrator Guide』の「Guest and Secure WiFi」の章にある「Create a Self-Registered Guest Portal」を参照してください。</p>
アップグレード	<p>次の場合を除いて、In-Service Software Upgrade (ISSU) は、Cisco SD-Access の展開ではサポートされていません。</p> <p>Catalyst IE3200、IE3300、および IE3400 スイッチは、低フラッシュメモリデバイスとして分類されます。Catalyst Center では通常 SWIM アップグレードにはインストールモードを使用することが推奨されますが、Cisco IOS XE リリース 17.x から 17.12.x にアップグレードすると、Catalyst IE スイッチでこの方法が失敗することがあります。そのため、インストールモードでの SWIM のアップグレードについては、スイッチをリリース 17.15.x 以降にアップグレードすることを推奨します。バンドルモードを使用している場合は、スイッチをリリース 17.12.x にアップグレードできます。</p>
アップグレード	<p>Cisco IOS XE リリース 17.18.1 から 17.18.2 にアップグレードする場合、Cisco C9610 スマートスイッチで ISSU はサポートされません。Catalyst Center では通常、SWIM アップグレードにインストールモードを使用することが推奨されますが、17.18.1 から 17.18.2 にアップグレードする場合、SWIM は引き続き機能するものの、Cisco C9610 スマートスイッチに固有の互換性の制限により、ISSU は機能しません。</p>

互換

Catalyst Center 互換性マトリックス

ルータ、スイッチ、ワイヤレス AP などのデバイス、および各アプリケーションでサポートされているソフトウェアリリースについては、『[Cisco Catalyst Center Compatibility Matrix](#)』を参照してください。

Cisco SD-Access 互換性マトリックス

Catalyst Center での Cisco SD-Access ハードウェアおよびソフトウェアのサポートについては、『[Cisco Software-Defined Access Compatibility Matrix](#)』を参照してください。

互換性のあるブラウザ

Catalyst Center GUI は次の HTTPS 対応ブラウザと互換性があります。

- Google Chrome : バージョン 93 以降
- Mozilla Firefox : バージョン 92 以降

画面解像度 :

- 最小 : 1368 x 768 ピクセル
- 推奨 : 1920 X 1080 ピクセル

Catalyst Center へのログインに使用するクライアント システムは、64 ビット オペレーティング システムと *.cisco.com ドメインへのインターネットアクセスを備えたブラウザを装備していることが推奨されます。

サポートされているアップグレードパス

Catalyst Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『[Cisco Catalyst Center Upgrade Guide](#)』を参照してください。

アップグレードする前に、検証ツールを使用して Catalyst Center のアプライアンスの正常性とアップグレードの準備状況チェックを実行します。アップグレード前チェックを実行するための [Appliance Infrastructure Status] および [Upgrade Readiness Status] 検証セットを選択します。詳細については、『[Cisco Catalyst Center Administrator Guide](#)』の「Configure System Settings」章の「Use the validation tool」を参照してください。

拡張性

Catalyst Center のスケール

Catalyst Center のスケール数値を確認するには、『[Cisco Catalyst Center Data Sheet](#)』を参照してください。

Web コンテンツ アクセシビリティ ガイドライン 2.1 標準のサポート

Catalyst Center は、AA 適合レベルの Web コンテンツ アクセシビリティ ガイドライン (WCAG) 2.1 標準をサポートしますが、次の制限事項があります。

表 12. WCAG 2.1 標準の AA 適合レベルと制限事項

WCAG 成功基準	サポートを受ける	制限事項
1.2.4 : キャプション (ライブ)	未サポート	—
1.2.5 : 音声説明 (録音済み)	未サポート	—
1.3.4 : 方向付け	未サポート	—
1.3.5 : 入力目的の特定	サポート対象	—
1.4.3 : コントラスト (最小)	サポート対象	—
1.4.4 : テキストのサイズ変更	サポート対象	—
1.4.5 : テキストの画像	サポート対象	—
1.4.10 : リフロー	サポート対象	—
1.4.11 : テキスト以外のコントラスト	サポート対象	—

WCAG 成功基準	サポートを受ける	制限事項
1.4.12 : テキストの間隔	サポート対象	—
1.4.13 : ホバーまたはフォーカスのコンテンツ	サポート対象	—
2.4.5 : 複数の方法	サポート対象	—
2.4.6 : 見出しとラベル	サポート対象	—
2.4.11 : フォーカスの外観 (最小)	サポート対象	—
2.5.7 : ドラッグ移動	一部サポートあり	サードパーティライブラリの制限により、ダッシュボードでは、ドラッグアンドドロップが部分的にサポートされます。
2.5.8 : ターゲットサイズ (最小)	サポート対象	—
3.1.2 : 各部の言語	サポート対象	—
3.2.3 : 一貫したナビゲーション	サポート対象	—
3.2.4 : 一貫した識別	サポート対象	—
3.3.3 : エラーの提案	サポート対象	—
3.3.4 : エラー防止 (法的、財務、データ)	未サポート	—
3.1.2 : 各部の言語	サポート対象	—
3.2.3 : 一貫したナビゲーション	サポート対象	—
3.2.4 : 一貫した識別	サポート対象	—
3.3.3 : エラーの提案	サポート対象	—
3.3.4 : エラー防止 (法的、財務、データ)	未サポート	—

サポートされるハードウェア

サポートされているハードウェアアプライアンス

Cisco は、ラックマウント可能な物理アプライアンスの形で Catalyst Center を提供しています。次のバージョンの Catalyst Center アプライアンスを使用できます。

- 第 2 世代
 - 44 コアアプライアンス : DN2-HW-APL (Cisco UCS C220 M5)
 - 44 コア プロモーション アプライアンス : DN2-HW-APL-U (Cisco UCS C220 M5)
 - 56 コアアプライアンス : DN2-HW-APL-L (Cisco UCS C220 M5)
 - 56 コア プロモーション アプライアンス : DN2-HW-APL-L-U (Cisco UCS C220 M5)
 - 112 コアアプライアンス : DN2-HW-APL-XL (Cisco UCS C480 M5)

- 112 コア プロモーション アプライアンス : DN2-HW-APL-XL-U (Cisco UCS C480 M5)
- 第 3 世代
 - 32 コアアプライアンス : DN3-HW-APL (Cisco UCS C220 M6)
 - 56 コアアプライアンス : DN3-HW-APL-L (Cisco UCS C220 M6)
 - 80 コアアプライアンス : DN3-HW-APL-XL (Cisco UCS C240 M6)

揮発性に関する報告

物理アプライアンスの揮発性に関するステートメントについては、『[Statement of Volatility for Cisco UCS Hardware](#)』を参照してください。

サポートされる仮想アプライアンス

Catalyst Center 3.1.6 は、オンプレミス環境用の VMware ESXi 上でのみ仮想アプライアンス (VA) として展開する場合にサポートされます。Catalyst Center も Cisco TAC も、他のハイパーバイザを使用する環境で発生する問題、バグ、または予期しない動作はサポート対象外です。

サポートされているファームウェア

Catalyst Center 3.1.6 は、次のファームウェアバージョンに対してのみ検証されています。

- アプライアンスモデル DN2-HW-APL、DN2-HW-APL-L、DN2-HW-APL-XL の Cisco IMC バージョン 4.3(2.240077)
- アプライアンスモデル DN3-HW-APL、DN3-HW-APL-L、DN3-HW-APL-XL の Cisco IMC バージョン 4.3(6.250040)

Cisco IMC ファームウェアの更新

Cisco IMC ファームウェアを更新するには、まず、インストールしている Catalyst Center の対応するリリースの[リリースノート](#)を参照してください。リリースノートの「サポートされているファームウェア」セクションに、ご使用のリリースの Cisco IMC ファームウェアバージョンが記載されています。

次に、『[Cisco Host Upgrade Utility User Guide](#)』のファームウェアの更新手順をご覧ください。

3 ノードクラスタ構成では、クラスタ内の 3 つのノードをすべてシャットダウンしてから Cisco IMC ファームウェアを更新することをお勧めします。ただし、必要に応じて、クラスタノードを個別にアップグレードすることもできます。『[Cisco Catalyst Center High Availability Guide](#)』の「Common cluster node operations」を参照し、手順に従って 1 つまたはすべてのノードをシャットダウンしてからメンテナンスを実施します。

関連技術情報

Catalyst Center に関するその他のドキュメントについては、『[Cisco Catalyst Center Documentation](#)』を参照してください。

法的情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語は、シスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。